

PLM革命

獄中のリカルド・フロレス・マゴンに代わって指導者となったプラセディス・ゲレロは1882年、グアナファトの裕福な地主の息子として生まれた。初等教育をレオンで受け、ジェネラル・ベルナルド・レイェスの第二予備軍に入隊し、軍事的技能を修得した。彼はジャーナリストとしての教育を受け、美しい文章や詩を書いた。ゲレロは革命の大儀を推し進めるために、豊かな生活を捨てて亡命した。教養があり軍事的素養のあるゲレロは、メキシコを弾圧から開放する目的で、ロマンチックで人気のあるPLMに加わった。¹²

ゲレロとエンリケは精力的に活動し、1908年の夏蜂起する計画を立てた。メキシコ各地で三十以上の支部が、自由獲得の時は来た、とゲリラ攻撃に打って出る手筈を整え、武器弾薬を購入し、国境の両側に集めてあった。しかし攻撃開始前、両国で逮捕者が出て計画は挫折した。エルパソで警察に踏み込まれライフル三百丁、実弾三千発、ダイナマイト、自家製爆弾などを押収され、さらに逮捕者が続いた。エルパソはシウダー・ファレス攻撃の本拠地で、ファレス攻撃が各地拠点への蜂起の合図であった。PLMは手痛い打撃を蒙った。チワワでも連邦軍による摘発がありPLMは威力を失った。それでも地方支部は夏から秋にかけて散発的に蜂起して再び失敗した。資金やロジスティックだけでなく、機密保持にも問題があった。¹³

1910年8月、リカルド・フロレス・マゴンはアリゾナの刑務所から釈放された。ロスアンゼルスではメキシコ人群集の熱烈な歓迎を受け、リカルドとアリゾナまで迎えに行った者たちは、投げられた花の絨毯の上を歩いた。リカルド不在の間PLMの機関紙リヘネラシオンはレヴォルーションと名前を変えていたが、九月三日、再びリヘネラシオンとして再生した。この頃にはPLMはアメリカの社会主義者、労働者、組合の幹部などからの支持を得ていたため、彼等にアピールするため、英語のページが加えられた。1906年7月1日、PLMマニフェストが英語で掲載された。ゲレロは紙上、オクラホマ、アリゾナ、テキサスのアングロがメキシコ人を虐待していることを非難した。アングロによるメキシコ人差別に対する不満は年々高まり、特にテキサスでは激しかった。この年、リヘネラシオンはアメリカにおける少数民族差別の問題に関心を示し、メキシコ人の人権擁護を世論に訴えた。1915年、南テキサスで「サンディエゴ計画」と呼ぶ、メキシコ人によるアングロ襲撃事件が発生したのは、リヘネラシオンが少なからぬ影響を与えていたためであった。¹⁴

この頃のPLM革命評議会は社会主義ではなく無政府主義・共産主義の立場を鮮明にしていた。フロレス・マゴン主義者は1901年、リベラルの伝統である反教会を基本にした改革から、1906年ブルジョワ革命を経て、リカルドが復帰した頃には無政府主義・共産主義へと進化していた。PLMは急進的なグループをリーダーとし、メキシコと米国に大勢の追随者を持ち、急進的イデオロギー、プログラム、宣伝組織、ゲリラ細胞、多様な戦術、国境の両側に配置した拠点を持つ、成熟しきった革命組織であった。¹⁵

PLMリーダーの中で最も軍事的な力量のあったプラセディス・ゲレロは、その年の一月、これまで以上に革命成就に意欲を燃やし、ロスアンゼルスからチワワへやって来た。PLM内部は連帯感があったが、ゲレロには不満であった。PLMは無政府主義者であることを明確に言明すべきであると、彼は長い間考えていた。ゲレロは、メキシコやアメリカの官憲がPLMをしつこく追い回していることに嫌気がさしたのと、何時までも無政府主義宣言がなされない事に痺れを切らし、地方支部と共に戦う決意をした。ゲレロは武器弾薬や物資の輸入地点として最も重要な国境の町フアレス市を選び、市の周辺にある小さな町を固める作戦を計画した。フアレスを制することは反ディアス勢力の勝利を意味した。ゲレロは既にオロスコと連絡を取り、PLMはチワワで協力態勢を作り上げていた。ゲレロは間もなくカサス・グランデスを支配し、PLMの勝利を目指して同志を募り、訓練を施していたが、1910年12月30日、ハノス攻防戦で落命した。PLMは最も重要な指導者を失った。ゲレロの後をグティエレス・デ・ララが引き継いだ。¹⁶

12. James A. Sandos, "Rebellion in the Borderlands, Anarchism and the Plan of San Diego, 1904-1923", University of Oklahoma Press, 1992, P13
13. Ibid. P14
14. Ibid. P18
15. W. Dirk Raat, "Revoltosos, Mexico's Rebels in the United States, 1903-1923", Texas A&M University Press, 1981, P27&38
16. James A. Sandos, "Rebellion in the Borderlands, Anarchism and the Plan of San Diego, 1904-1923", University of Oklahoma Press, 1992, P26

[目次へ戻る](#)